

むらさき会(記録)

2009年9月15日

太宰府市いきいき情報センター210号

『脳卒中と骨折予防は寝たきりゼロへの第一歩』

各会場でのアンケートです。

『皆様がなりたくない病気は?』

① 寝たきり

② 痴呆

共通は、他人の手を煩わすこと。

寝たきりの要因は、

① 脳卒中

② 骨折

脳血管の障害を防げばボケも防げる。

友納先生(69)が、6月に救急車で運ばれる。

山口県のホテルにて。フロントから10mところ。

目の前が、グラグラ!!

先生が思ったことは、『どうか一過性であってほしい』

山口県総合医療センターに運ばれる。

病院中のスタッフが脳卒中を考えて診療している。

目を開けると、医療チームがみんなで上から顔を見下ろしている。

エコー、CT, MRIと次々に検査をされる。

脳卒中は時間勝負。3～6時間が山です。

検査が終わり、手術されることも無く病室へ…

入院3日、

薬なし。

なぜ、手術されなかったのか?

検査の結果、どこにも詰まりがない。

MRI, CTのどこにも詰まりもない。

山口県の病院からの紹介状では、『脊髄狭窄症』の疑いあり。

また検査したが何もでない。

心臓の心電図の検査をした。

もし異常があった場合、心臓の血栓が飛んで脳の毛細血管に詰まる
心原性の脳塞栓症の疑いがある。

脳にも異常ない、脊髄にも問題ない、心臓にも問題ない。

ただ症状だけがある。

原因は、『めまい』でした。

苓桂朮甘湯は、茯苓、桂枝、白朮、甘草で構成する漢方薬を1日4回服用。

紫華榮にはドクダミ、薏苡仁が入っているので水を出す。これも服用。

新薬を一切飲まずに、東洋系の薬だけで治してしまった。

脳卒中の家系であり、予防は常に心掛けていた。

松寿仙とカルシウムを足掛け40年飲んできた。

その証が今回の結果だった。

(参考)

脳梗塞確率

40代で 4人に1人

50代で 3人に1人

60代で 2人に1人

70代で ほぼ全員

どこかに詰まりがある。

松寿仙は脳卒中の薬。

カルシウムは骨折の薬。また、神経が細い方のストレスの薬(心の世界)。

最近は、高齢の方のキレル人の割合が急増中。

この神経の興奮を抑えるのがカルシウム。

キレル御三家…

- ① カフェイン
- ② アルコール
- ③ 砂糖

これらを摂るときは、カルシウムを多めに服用。

実は、カルシウムだけとっても意味が無い。

協力者がいる。

その協力者とは、運動の刺激。

カルシウムには、マグネシウムが必要。

ササカルには、牡蛎末が入っている。

よってササカルには、Caだけでなく微量元素がたくさん入っている。

カルシウムは1／16の栄養素。ストレスに対抗できる。

ストレスがかかると、体は反応する。

その反応は、血管が収縮する。すると血の流れは悪くなる。

それが頭で起こると、脳梗塞のリスク高まる。

それが心臓で起こると、心筋硬塞のリスクが高まる。

鬱病で自殺された方に欠落している物質がある。

それは『セロトニン』という物質。

セロトニンを作ることが出来る原料はたった一つ。

トリプトファンというアミノ酸である。

20種類のアミノ酸のうち8種類は自分の体では作ることが出来ない『必須アミノ酸』。

食べ物で『トリプトファン』を補うには、

バナナ、チーズ、納豆に多く含まれる。

鬱の傾向になると眠れなくなる。

なぜか？

原因は、セロトニンの代謝物メラトニンの不足。

トリプトファン→セロトニン→メラトニン

とこのようにトリプトファンは変化していく。

しかし、この食べ物を摂ればうまくいくかというと、
気を付ける事が。

それは低体温の方はこの反応が起こりにくなる。

酵素の活性が低いため。

1度体温が下がると、免疫細胞は37%ダウンする!

1度体温が下がると、酵素の働きは50%ダウンする!!

松寿仙を飲むと体は温かくなる。

松寿仙は原料の松葉に必須アミノ酸が全て含まれている。

新型インフルエンザは、着々と確実に増えている。

タミフル耐性ウイルスも出現。

紫華栄は、紫根が主成分。

これは、抗ウイルス作用が強い。

大阪府立公衆衛生大学の上羽先生が実験。

132種類の薬草をエイズウイルスへの効力を調べた。

紫根が断トツウイルスを抑える作用は強かった。

紫華栄は、免疫細胞を強くします。